

予算常任委員会記録

1. 委員会を開催した年月日・時刻及び場所

令和7年3月13日(木) 議場

午後9時00分 開議 午前10時19分 休憩

午前10時36分 再開 午前11時31分 閉議

2. 出席した委員の名簿

委員長	寺井哲也	(○)	
副委員長	松永幸則	(○)	
委員	丸田一幹	(○)	
〃	松田義人	(○)	
〃	備後克則	(○)	
〃	岡本佐市	(○)	
〃	川口雅登	(○)	副議長
〃	酒井一人	(○)	
〃	浜名等	(○)	
〃	櫻井英一	(○)	
〃	新田義昭	(○)	
〃	山本泰夫	(○)	議長
〃	浅野俊二	(○)	

3. 傍聴した者 北國新聞記者

4. 出席した説明員

川口副市長、前田産業建設部長、和田総務部参事、山本農林水産課長、政氏商工観光課長、寺井環境安全課長、田中地域整備課上下水道担当課長、

5. 出席した事務局職員

事務局長 岡嶋 克己 事務局次長 松田 秀治 係長 澤田 朋子

6. 会議に付した議件

令和7年度一般会計当初予算のうち本日審査分

7. 会議の概要

寺井委員長のあいさつにより会議を開く。以後、進行も行う。

次に、別紙日程表に基づき、環境安全課、商工観光課、農林水産課、地域整備課の順で説明が行われた後、休憩に入る。再開後、質疑・応答が行われる。

最後に、午後の開催時間を確認し、会議を閉じる。

8. 主な質疑・応答等

【付託案件に対する主な質疑・応答】

松永委員：公害対策事業で、カラスの追い払いを行っているが、その効果は。

寺井環境安全課長：現在、鷹匠とLED照射による追い払いを行っている。鷹匠は、少し減ってきていると言っている。

松永委員：カラスの糞害の清掃を新たにということだが、どういうふうに清掃するのか。

寺井環境安全課長：イベントとかあるときに道路の糞尿を年数回、高圧洗浄等を利用して業者に委託する予定。

浜名委員：イベント前の清掃は定期的なものか。予算はどれくらいか。

寺井環境安全課長：予算は、委託費で40万円を計上している。その他にも高圧洗浄機を購入し、商店街等に貸出している。

浜名委員：貸し出しの状況と、定期的な清掃は考えられないのか。

寺井環境安全課長：6年度、商店街の方にずっと貸出したままだったので、商店街の方で清掃を行っていた。

汚れが激しいとき、目立つようになった時には清掃をやっていききたい。

浅野委員：カラス対策で、前にも北陸電力に上の方の線に器具を取り付けてもらったが、効果があるのか。

寺井環境安全課長：当初は効果があったようだが、慣れてくるとまた集まってきたりするので、他の自治体の対策も検討していきたい。

櫻井委員：県営は場整備事業、三ツ屋町、深江町だが、震災の影響で遅れるそうだが、どの程度遅れるのか。

山本農林水産課長：今後、震災の復旧のスピード感、業者等の確保ができれば進んでいくのではないかと考えているが、今の段階では分からない。

松田委員：ふるさと納税の委託料、2億4,500万円くらいだが、サイト運営費とパンクチャルへの委託だと思うが、いくらずつくらいか。また、パンクチャル委託料算定は何パーセントか。

政氏商工観光課長：中間事業者への委託料が4,000万円、返礼品の代金として1億7,400万円、配送料2,400万円、帳票の印刷や郵送料340万円、ワンストップの申請書の受付やデータ作成委託275万円で、中間事業者穂の委託料は6.5%と予選計上している。

松田委員：交通安全対策事業で免許返納に掛かる費用、7年度は何人分の計上か。また、ここ数年の推移は。

寺井環境安全課長：昨年度は83人、今年度は2月末で110人、予算は120人である。

松永委員：森林環境譲与税で、機械とはどんなことができる機械か。

山本農林水産課長：中能登管内で、市町県で森林組合が協議会を立ち上げ、森林環境譲与税の一部を協議会に集め、県内の林業業者に林業機械のレンタル、修繕等に支援をしていく事業を進めようとしている。

現地に入って、木をつかんでそれを切る機械。切って小分けしたものを運ぶキャリーという機械は、修理にお金がかかるので、レンタルや修繕にお金を充てるといった考え方である。

浅野委員：定住促進で、島出住宅の修繕が来年に終わるということだが、その後の計画はどうなっているか。御坊山住宅はシャワーがなく、風呂の浴槽の高さが高い。どのように考えているか。

前田産業建設部長：来年度をもって島出住宅の大規模改修は終わる。今後は基金を積み立てていく。

御坊山住宅について、大規模改修は今のところ計画は無い。今の状況で都合の悪いところは補修をしながら維持していく。風呂の改修、水回りの改修には相当の費用が生じる。また、住宅自体が老朽化している。大きなお金をかけて修繕を行う予定はない。

酒井委員：危険ブロック塀撤去費補助事業で6年度終了予定が7年度まで延長し、減額するということだが、補助金減額の時期の境目はいつか。

前田産業建設部長：この事業は、平成31年から行ってきた。6年やって一定の効果はあったということで今年度をもって終了予定だったが、震災の復旧で業者が見つからないということで1年間延長する。そこで平米当たり4,000円を3,000円にするのは、令和7年度の申請から適用。

酒井委員：このブロック危ないんじゃないか、壊した方がいいんじゃないかというアプローチすることはどうか。

前田産業建設部長：ブロック塀は市内にまだまだある。ただそれが危険かどうかはなかなか把握が難しい。地元から危ないと言われた時は市が確認をして、危険ということであれば所有者に補助制度周知を図って工事に至ったこともある。毎年広報にも周知してきて一定の効果はあった。

備後委員：耐震住宅リフォーム支援で、補助を最大220万円から270万円に上げるとのことだが、旧家と言われる大型の家は、補助金があっても高額の費用がかかり、なかなかリフォームに踏み切れないと聞くが。

前田産業建設部長：住宅の耐震を図り、地震による倒壊を防ぎ、命を守ることが重要であることから270万円に引き上げた。現時点で県内でもトップクラスの助成額であり、少しでも耐震化に意識が向くきっかけになれば、という思いである。
また、一部の部屋だけの補強に使える簡易耐震補強工事の限度額も15万円に拡充するので、ぜひ活用いただきたい。

備後委員：空き家対策事業で、地震被災の公費解体と周辺住民の安全を守るという両面から危険家屋の撤去を進めてほしい。

前田産業建設部長：市内の危険な空き家は130戸、そのうち所有者不明は16戸。この所有者不明空き家が倒壊により道路を塞ぐとかなった場合には空き家対策を利用する。

松田委員：耐震リフォーム支援事業で、それまでに改修をして220万円から足が出ていた場合、遡及して補助を出すことはあるか。

前田産業建設部長：遡及は考えていない。新年度からの申請についてこの金額である。

松田委員：住宅支援事業1,700万円は、造成に対する補助となるのか、また居住誘導区域外でも対象となるのか。

前田産業建設部長：民間業者が宅地開発をするにあたり行うもの。宅地開発に必要な道路の平米当たりの補助と、一区画あたりの補助を積み上げたものが補助対象となる。また、居住誘導区域内外を問わず活用いただける。

丸田委員：ブロック塀に限らず、各小学校で通学路の危険区域を調査し、マッピング化している。そのデータで危険事例をチェックできる。

前田産業建設部長：そういったことを市と学校、PTA、警察で取り組んでいる。交通安全プログラムにも上がってきていると思うので、そういう声があれば対応していきたい。

丸田委員：中小企業振興支援事業、県の伝統産業合同見本市と MEX の開催補費補助金は、開催に対しての協賛金みたいなものか、それとも企業が出展するような補助みたいなものも含まれているのか。

政氏商工観光課長：開催することについての負担金である。

松永委員：ふるさと納税で、予想以上に来た場合適宜補正予算で対応か。

政氏商工観光課長：おっしゃるとおり適宜補正する。

新田委員：スズメバチの巣の駆除の補助金で、かかった金額のどれくらい出るのか。

寺井環境安全課長：最高で1件当たり1万円の補助をしている。

新田委員：眉丈トンネル2つあるが、照明がLEDに替えたことにより維持費が下がったか。

前田産業建設部長：眉丈トンネル第1、第2について、LED化の工事を進めてきた。確実に電気料は下がっているし、耐用年数も上がっている。

浅野委員：SSTR、受入れの一般市民の関係もいろいろ考えてみればどうか。

到達点に浜茶屋があり持ち主さんと安全性について話をしてもらおうとか、到達点を動かすとか、お互いにウインウインになるようにしてほしい。

川口副市長：主催する風間事務所でもいろいろ市民との交流を深めていきたい、という話は聞いている。バイクに乗っていると、ゴール前でなく通りがかりの人が手を振ってくれるだけでうれしいもの。

浜茶屋については、開催時期が5月で海水浴シーズンでないし、ゴールが午後3時、4時以降と日が沈むようなときなので、影響はないのかなと思う。

浜茶屋をもう少しきれいには、浜茶屋に浅野議員からもお伝えいただきたい。

松永委員：道路補修に関して、町会とか個人がレミファルトをもらって埋めることは可能か。

前田産業建設部長：簡単な道路補修については希望があれば町会にレミファルトを提供している。それを活用し、町会でやっていただければありがたい。各町会長には案内を出して協力をいただいている。

備後委員：道路改良舗装事業で、千里浜と金丸出の調整池に関しての現状と計画について。

前田産業建設部長：千里浜は、既存の12ヘクタールの集水する調整池を今年度から着手している。今年度と来年度で完了を目指す。

金丸出町長曾川に隣接するところは、これまで概略設計、詳細設計を進めてきた。

今年度用地の買収を進めている。来年度は、工事に着手し造成を進め、ポンプ施設を設けて冠水対策が完了する。2年3年かかるかと見込んでいる。

予 算 常 任 委 員 会 記 録

1. 委員会を開催した年月日・時刻及び場所

令和7年3月13日(木) 議 場

午後1時30分 開議 午後2時10分 休憩

午後2時20分 再開 午後3時15分 休憩

午後3時30分 再開 午後4時 7分 閉議

2. 出席した委員の名簿

委員長	寺 井 哲 也 (○)	
副委員長	松 永 幸 則 (○)	
委 員	丸 田 一 幹 (○)	
〃	松 田 義 人 (○)	
〃	備 後 克 則 (○)	
〃	岡 本 佐 市 (○)	
〃	川 口 雅 登 (○)	副議長
〃	酒 井 一 人 (○)	
〃	浜 名 等 (○)	
〃	櫻 井 英 一 (○)	
〃	新 田 義 昭 (○)	
〃	山 本 泰 夫 (○)	議 長
〃	浅 野 俊 二 (○)	

3. 傍聴した者 なし

4. 出席した説明員

川口副市長、八島教育長、山本総務部長、和田総務部参事、中島教育次長、西村生涯学習課長、関軒企画振興室長、牧山文化財課長、山本市民窓口課長、木村地域包括ケア推進室長、田中地域整備課上下水道担当課長、

5. 出席した事務局職員

事務局長 岡嶋 克己 事務局次長 松田 秀治 係長 澤田 朋子

6. 会議に付した議件

令和7年度一般会計当初予算のうち本日審査分

7. 会議の概要

寺井委員長のあいさつにより会議を開く。以後、進行も行う。

別紙日程表に基づき、学校教育課、企画振興室、生涯学習課、文化財課（歴史民俗資料館）の順で説明が行われた後、休憩に入る。再開後、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、千里浜財産区特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の順で説明が行われた後、再び休憩に入る。再開後質疑・応答が行われる。

最後に、3日目（3月17日）の開催時間を確認し、会議を閉じる。

8. 主な質疑・応答等

【付託案件に対する主な質疑・応答】

松永委員：学校給食に関して、昨今食材費などの値段が上がっているが、栄養面などに影響はないのか。

中島教育次長：最近の物価高騰で食材費が上がっているが、令和6年度から一食当たりの単価を上げている。栄養面では栄養教諭がバランスのよい栄養を取得できるようメニューを作っている。

松田委員：ギガスクール構想が始まって、児童一人に一台の端末が配布され数年経つが、更新の見通しは。

中島教育次長：令和8年度の更新に向け、前回同様県の方で共同調達の方で進めている。

松田委員：男女共同参画社会推進費がゼロ項目になっているが、所管替えか。

西村生涯学習課長：7年度から総務課に移行する。

松永委員：キッズイングリッシュキャンプの予算は。

関軒企画振興室長：通常の予算の中から出している。また、各児童による個人負担も実施している。

松永委員：学校でデジタルのデメリット、弊害は出てきていないか。

八島教育長：デジタルには一長一短がある。ペーパー図書の活用も言われているが、両方の長所を生かしながら活用するのがいいととらえている。

小学校の中低学年まではペーパーで読書し、高学年でデジタル新聞や図書を活用する。中学校においては図書の選択があるが、専門的なことや興味関心の分野の図書を充実させることは経費がかかって難しいかなと思っている。中身が薄いという意見もあり対応しなければならないと思っている。

櫻井委員：市民スポーツ大会開催事業、これまで7月第1日曜日開催の方針を変える話を聞いたが。

西村生涯学習課長：令和7年度から石川県民スポーツ大会が暑さ対策のため、7月の第1土曜日、日曜日に開催される。そこで、羽咋市民スポーツ大会の日程変更をスポーツ協会、各種目団体等も検討中である。

浅野委員：羽咋の生徒は、どういう大学に行っているのか

寺井委員長：だいぶ予算から流れている。次から予算の質問に戻して。

八島教育長：分かる範囲内で。昨年度のことであるが、泉丘高校に進学した生徒はその年に4人。そのうち、現役で国立の医学部に2人、旧帝大に2人と聞いている。付属に進学した生徒は高い志を持っている。それから、昨年度羽咋高校からも旧帝大

に2、3人いる。

松永委員：市民大学校だが、どういう内容で誰がみたいなところ分かっているか。

西村生涯学習課長：どの分野のどんな講師を招くかも現時点で調整中。

松永委員：どっか偉い先生を呼んで年数回やるだけなら大学でなく市民講座、それはそれでいいが、どっちか。

八島教育長：講座としてスタートするが、これは、入門と捉え、それを核として波及で興味のある分野を自分たちで学ぶ場ができればいい。

松永委員：コスモアイルの大ホールのWiFiの予定はあるのか。

西村生涯学習課長：そういう改修は7年度に予定していないが、利用者からの要望も度々あるので今後計画していきたい。

松永委員：妙成寺の3Dスキャンはどうなったか

牧山文化財課長：スキャンは終わり、見れる形にはなっている。ただ、公開までには至っていない。今後、小学校のタブレットでと考えているが、各学校で制限がかかっており、それを取っ払って直接リンクできればと現在進めている。

松永委員：こども達に可能であればプロセスを見せることができたらいいと思うが。

牧山文化財課長：構築過程は、天候とかもあり1回で終わるものでなく、不足分を後から補填することもあり、日程を学校に揃えることができなかった。これから先、小さいものでもそういった技術をこども達に伝達することは可能ではあるが、小学生のタブレットの使えるソフトとかの制限があるので、簡単にはいかない。

酒井委員：学校給食で、物価高騰で燃料単価や光熱水費が上がっている。7年度予算では高騰分をどれくらい見込んでいるのか。

中島教育次長：大きなものは、共同調理場の調理と配送の委託費。これは、5年の長期継続契約なので、5年前の燃料単価を基に計算されている。しかし、国からの燃料単価の高騰を踏まえて契約については適宜再契約しなさいという通知もあり、昨年、一昨年も増額補正し、契約の変更をしている。

松永委員：介護予防ポイント貯め方、使い方は。

木村地域包括ケア推進室長：貯め方は、交換率の拡充を目指している。より多く活動している方に割合を高く、割り増しして発行することを検討している。

使い方は現在はUF0カードポイント、UF0商品券を例えばユーフォリアのお風呂に使うことも検討していきたい。また、タクシーのチケットを交換できないかも検討していきたい。

松永委員：見守りシール、どれくらい必要とされていて、活用した例があるか。

木村地域包括ケア推進室長：令和6年度新規登録は2名。その方を含め現在11名が登録している。

松永委員：せっかくいい機能なのにこの数字はもったいない。

木村地域包括ケア推進室長：これまで広報とホームページで案内してきたが、もっと周知を図るようにしていきたい。

新田委員：下水道が震災前の状態に戻るまでに10年かかると言われているが、どれくらいの費用がかかるのか。

田中上下水道担当課長：下水道の復旧費用は85から90億円かかると査定を受けた上ではなっている。単純に10年かかるとすれば、1年間に8億くらいかかるが、実際には

国の補助があるので、持ち出しは大分少ないと思っている

備後委員：下水道の営業収益が約2億6千万円ほど、費用がその3倍くらいかかるとなっている。その不足額がある。一般会計等々から国の交付金等々もあるが難儀している。その辺の現状認識と取り組みはあるか。

田中上下水道担当課長：やはり料金収入を上げないといけない。下水道地域で下水道に接続していない方、浄化槽地域での単独浄化槽の方に案内をする準備をしている。ただ、準備に時間がかかるので、3年か4年かけて案内していきたい。

令和7年第2回羽咋市議会定例会議案付託表

予算常任委員会

番 号	議案番号	議 件
1	議案第2号	令和7年度羽咋市一般会計予算
2	議案第3号	令和7年度羽咋市国民健康保険特別会計予算
3	議案第4号	令和7年度羽咋市後期高齢者医療特別会計予算
4	議案第5号	令和7年度羽咋市介護保険特別会計予算
5	議案第6号	令和7年度羽咋市千里浜財産区特別会計予算
6	議案第7号	令和7年度羽咋市水道事業会計予算
7	議案第8号	令和7年度羽咋市下水道事業会計予算
8	議案第9号	令和6年度羽咋市一般会計補正予算（第12号）
9	議案第10号	令和6年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
10	議案第11号	令和6年度羽咋市水道事業会計補正予算（第4号）
11	議案第12号	令和6年度羽咋市下水道事業会計補正予算（第4号）